

# Ⅱ 活動の考え方と実績等

一般社団法人 災害防止研究所

Disaster Prevention Research Institute

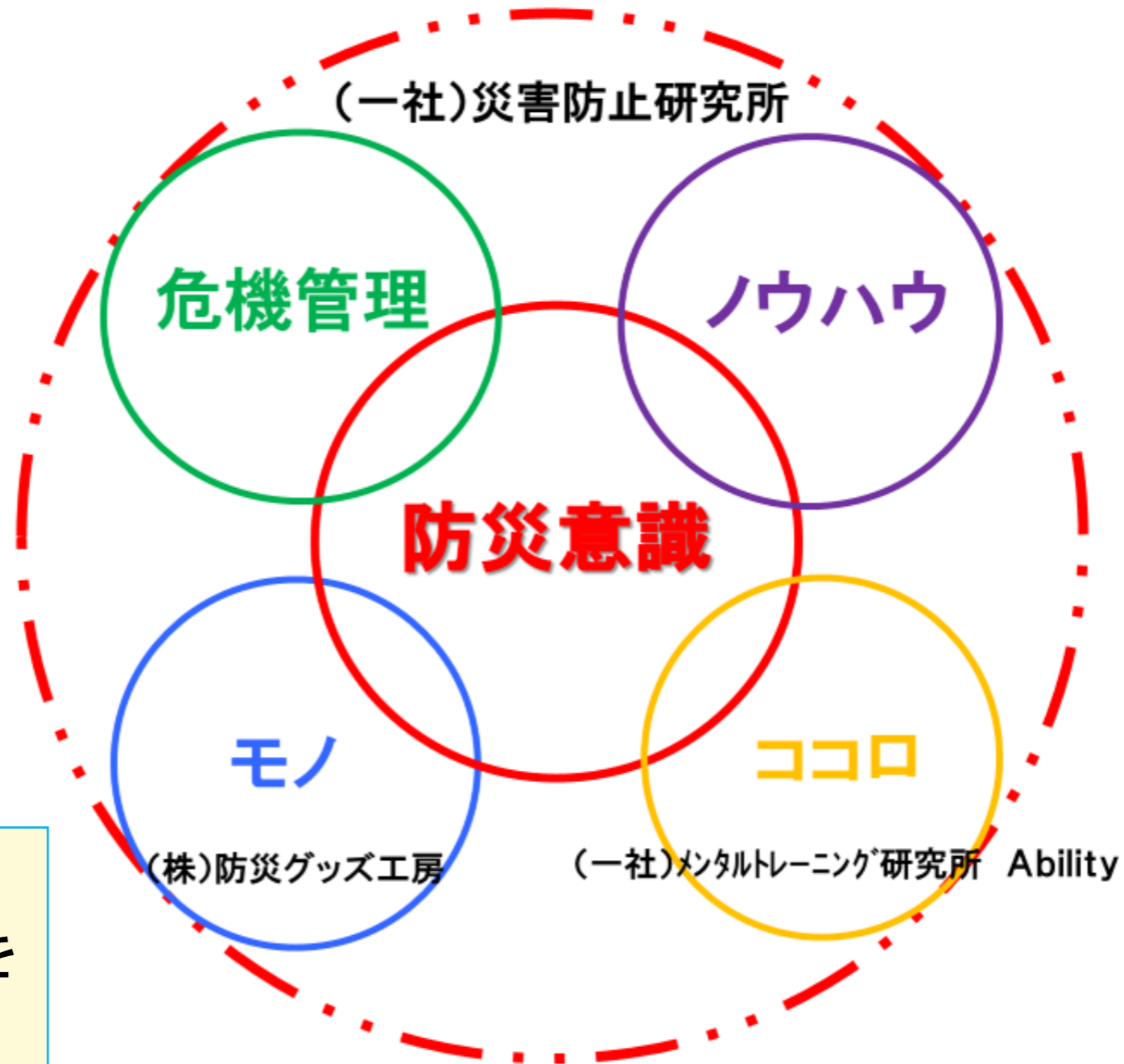
2020年10月



# 災害防止研究所の活動

## 活動の方向性

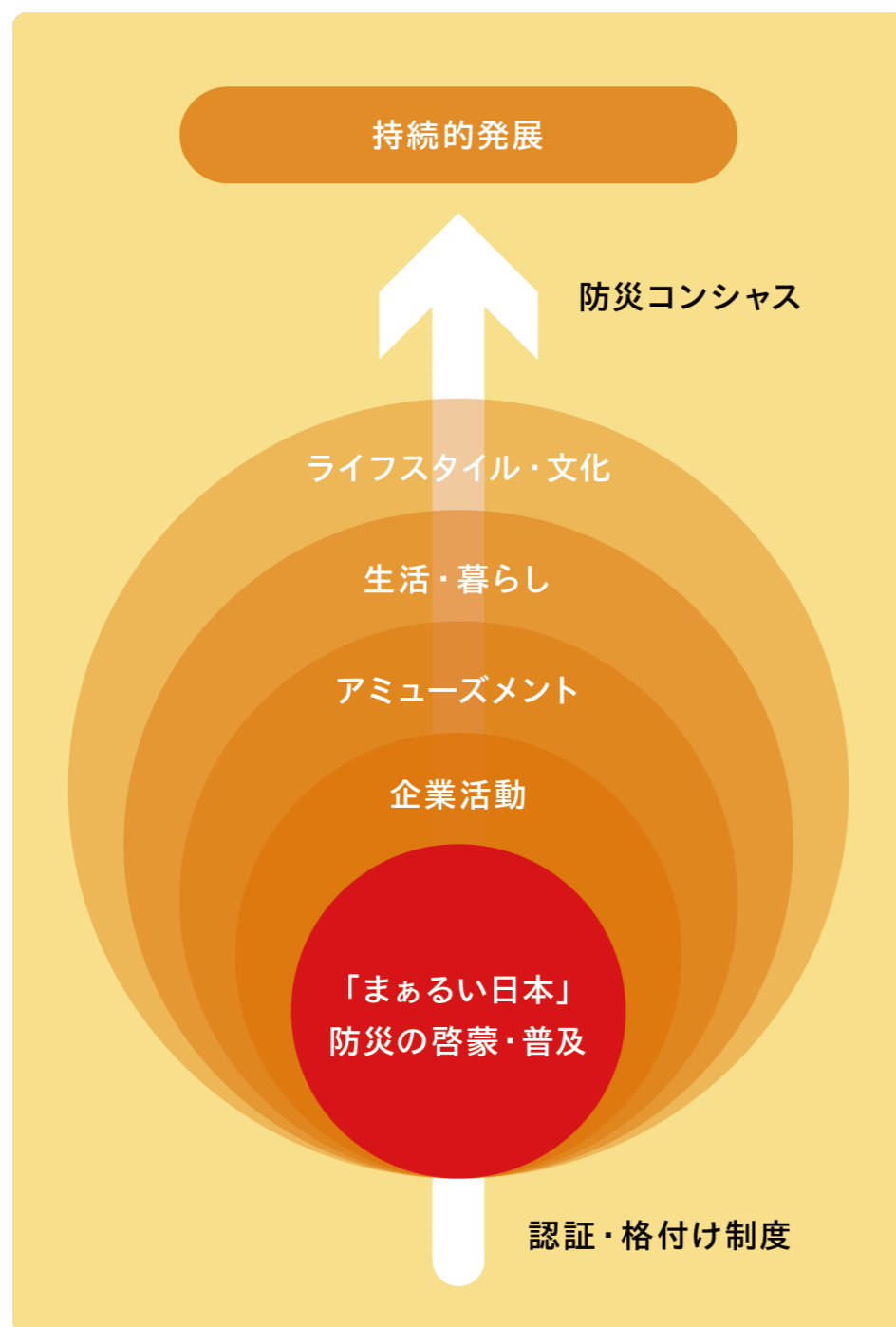
災害の経験を生かして、危機に強い社会を実現する



楽しく使えて、  
便利な防災グッズを  
普及する

しなやかで、  
災害に負けない  
ココロを養う

## 活動展開のイメージ



目的は、「成長と発展」

善きものは文化となって受け継がれる



新しいライフスタイルを創造する



生活・暮らしに、定着させる



楽しくなくては受け入れられない



企業活動と連携しなくては広がらない



活動の愛称

# まあるい日本プロジェクト

厳しくも美しく恵まれた自然環境のもと、日本人は、大災害時、危機時と平時の生活のバランスをとり、社会の多様性、人々の考え方の相違を取り込む柔軟性と、それを発展させる創造性を発揮して繁栄してきました。

「和」という言葉で表現される日本人の精神性、融通無碍に形を変えつつ、異質なものを吸収して発展していく心の強さは、まさに「まあるい」円で象徴されます。

このようなレジリエンスに富んだ考え方と生き方は、古来より、日本社会のなかで脈々と受け継がれているものです。

私たちは活動を通じ、日常生活のなかから、困難に打ち勝つしなやかな力（レジリエンス）、目標に向かってよりポジティブに生きていく強い「まあるい」心を養っていきたいと考えています。

「災害防止活動（まあるい日本プロジェクト）と  
ESG投資、そしてSDGsの実現へ」

一般社団法人 災害防止研究所 代表理事 吉田明生

1. 課題

世界各地で起きている大規模自然災害は、その人的損失、経済的損失が貧困や飢餓を生み出すだけでなく、各国の持続可能な開発の実現を著しく阻害する一大要因になっています。

### 2. 企業活動との連携の必要性

災害対処には、人命の保護はもとより、医療・行政・情報通信・交通物流・都市インフラなどの機能維持から国土保全、環境保護、研究開発まで、ハード面からソフト面までのあらゆる分野の統合的な取り組みが必要です。

災害防止への投資は、災害対応や復旧に比較してより費用対効果が高く、民間企業の災害防止活動への参画は、社会全体のよりダイナミックでより柔軟な動きを作り出します。

企業の災害対処能力の強化は、業務継続能力やガバナンスの改善だけにとどまらず、家庭での防災意識を活性化し、生活・暮らしの新たなライフスタイルを生み、アミューズメントを通じて創造的な文化となって定着していくでしょう。

民間企業を抜きにして、幅広い総合的な災害防止への取り組みを語ることはできません。

### 3. ESGと企業活動

企業が災害防止に関わるモチベーションは、消費者のニーズ、社会的な責任、投資家の評価などによって決まります。

今、この評価基準としてほぼ定着しているのは、2006年、コフィー・アナン第7代国連事務総長が提唱した「責任投資原則（PRI：Principles for Responsible Investment）」によってオーソライズされたESG投資という概念です。

PRIへの署名機関数は、2016年12月末現在、1,600超。署名機関全体の運用資産残高は60兆米ドルを超え、ESG投資総額は、世界の投資の4分の1に達したと言われています。日本では、2015年9月、世界最大の年金資産規模を持つ年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）が署名したことを契機として、「ESG投資」への認識が高まりました。

## 災害防止研究所の長期的な目標

ESG投資は、**環境（Environment）**での、二酸化炭素の排出削減、農林水産業を取り巻く環境の改善から、**社会（Social）**での、廃棄物の処理システムの構築、防災施設の整備、生活・暮らし、健康、医療・衛生などの取り組みにいたるまで広範多岐にわたって、直接間接に、災害防止に関連しています。

**統治（Governance）**では、コンプライアンスや情報開示など企業の不正行為の防止に焦点を当てるのが通常ですが、災害防止の観点から考えると、リスク管理、危機管理、業務継続、リーダーシップなどを評価して、より幅広い、本来的な、積極的な意義を持たせるべきでしょう。それによって、企業にとって“統治”の価値がより大きく、意味のあるものになります。

企業は、ESGに配慮することで企業価値を向上して安定的な資本調達を可能にし、機関投資家は、ESG投資により中長期的に収益を確保することで社会的責任を果たす、という相関関係が定着し、2015年9月、国連が「2030アジェンダ」で示した**持続的な開発目標（SDGs）**は、ESG投資によって達成すべき普遍的価値を明示したものになりました。



### 4. 災害防止研究所の活動（まあるい日本・プロジェクト）～SDGsの実現への貢献

災害の脅威に直面する国や企業、家庭が、健全で持続的な成長を維持するためには、まず安全・安心に投資して基盤を固めることが近道かつ不可欠です。

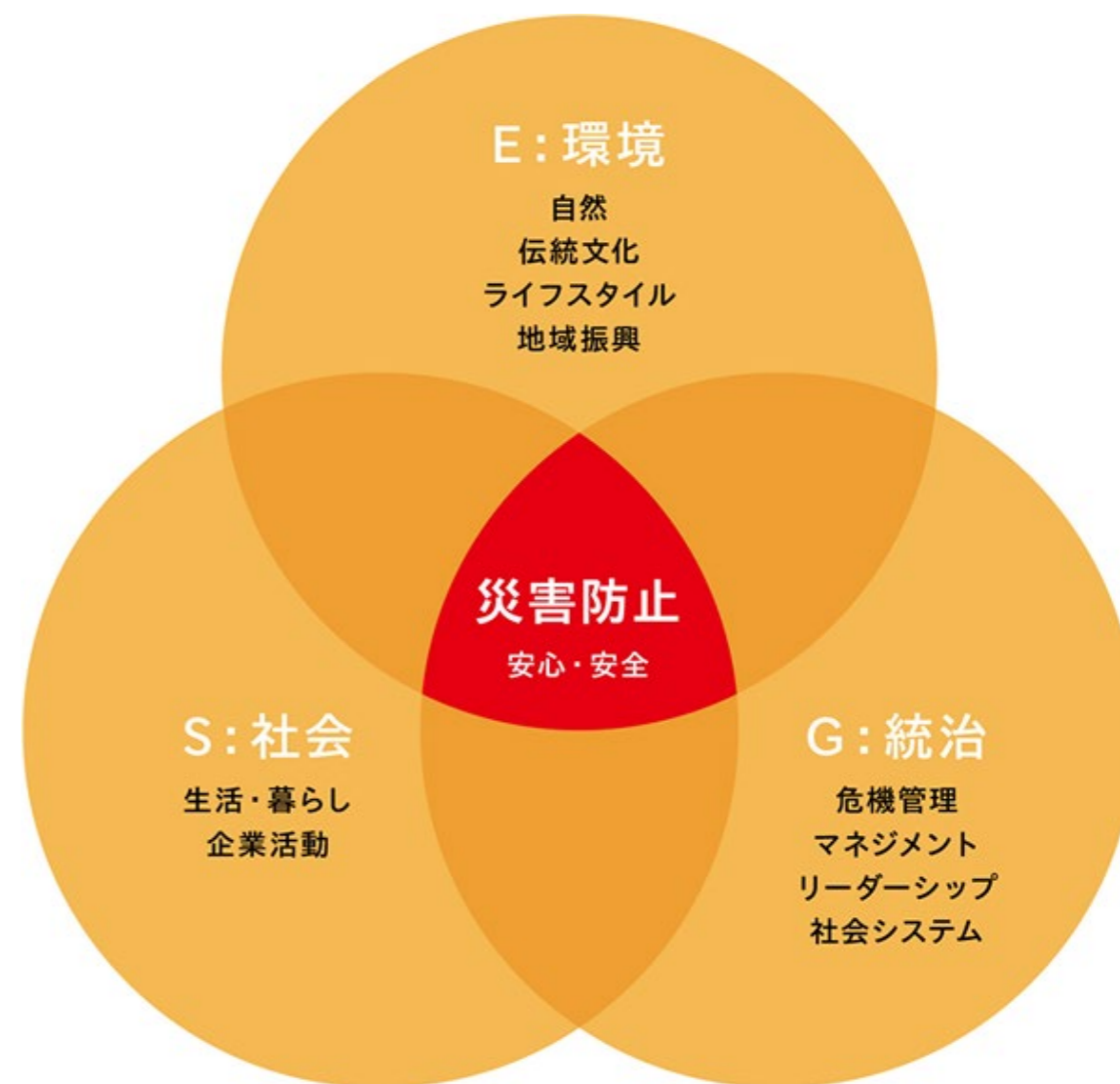
災害を防止し、自然と共生するための環境（E）に対する投資、災害に強い強靱な社会を形成するための社会（S）に対する投資、危機管理に優れた組織を作るためのガバナンス（G）への投資を促進するためには、その企業努力を広く知らしめる努力と同時に、災害防止に貢献する企業活動が、社会全体から積極的に評価されなくてはなりません。

このような視点から、ESG投資の価値、理念の核心に、災害防止による「安全・安心、平和（Peace）」を位置づけることは、SDGsの実現に貢献するとともに、災害の脅威に直面する日本にとって、災害防止と成長・発展を同時に促進する、極めて有意義な取り組みだと考えます。

## 災害防止研究所の長期的な目標

私たちは、「創造性」の溢れる企業と連携を図り、生活・暮らしのなかでの「多様性」のある企業活動を支持するとともに、自然環境と「調和」のとれた災害防止活動を広めていきます。

個人の災害防止意識が一つのライフスタイルや文化として社会に定着し、持続的な開発が実現することを理念に掲げ、「まあるい日本プロジェクト」の活動を続けていくためのシステム作りをしていきます。



企業のESG活動支援イメージコンセプト  
【持続可能な成長目標SDGsの実現】

# 事業（活動）内容

## 1) 第1回防災グッズ展【於2019年9月1日 阪急阪神百貨店うめだ本店】

**必見!**  
ゼット役に立つ  
災害時の衣食住の  
アイデア満載



**親子でガッテン**  
家族で生き残るため

# 防災グッズ展

開催日時・場所

**9/1**

10:15~18:00

**入場無料**

阪急うめだ本店  
9F 阪急うめだホー



10:35~10:45 国連防災機関 (UNDRR) 駐日事務所代表

**オープニングイベント** 松岡 由季氏 特別メッセージ

在ジュネーブ国連日本政府代表部(外務省)勤務などを経て、2004年より国連に入職。国連防災機関(UNDRR)本部(ジュネーブ)にてプログラム・オフィサー、UNDRR事務局局長特別補佐官を務めた後、UNDRR駐日事務所代表に就任。「仙台防災枠組」を採択した第三回国連防災世界会議(2015年3月仙台開催)に係るプロセスに中心的に携わった。地球環境学博士。



防災グッズ展キャラクター  
**地球防災大使**  
ぼー君

親子で楽しめる  
アトラクションが満載  
ぜひファミリーで  
ご参加ください。

**特別記念講演** 12:00~12:40



特別講師  
**吉村 作治氏**  
東日本国際大学学長・早稲田大学名誉教授 工学博士(早大)  
エジプト考古学者の第一人者として業績を上げる。著書多数。

**古代エジプトから学ぶ 災害への備え**  
ピラミッド、スフィンクスなど巨大な建造物で知られる古代エジプト。ナイル川のほとりに誕生した王朝はどうやって3000年もの間、繁栄したのでしょうか。約半世紀にわたって現地で発掘調査を行ってきた吉村先生が、古代人の知恵を生かした災害への向き合い方をお話します。

# 防災グッズ大賞



災害防止研究所では、独自の視点で優れた防災グッズを選定し、「防災グッズ大賞」を発表することにいたしました。  
本大賞の表彰を通して、防災グッズを見て、触れて、楽しんで、より多くの方々が、防災グッズに関心を持って頂ければ幸いです。

10:45~11:00 書家 柏木白光氏  
**オープニングイベント** 「虹の子供たち」揮毫

**プロフィール**  
初代・辛島寅次郎、2代・宇都宮廣の跡を継ぎ、5歳から書の道へ。毎日女流展など多くの書道展に入賞後毎日女流展審査員など歴任。独自の「墨アート」の世界を表現している。

13:45~14:25 農林水産省 藤田晋吾氏  
**講話** 災害時に備えた食品ストックガイドの案内

**プロフィール**  
農林水産省大臣官房政策課食料安全保障室 室長  
美味しい、楽しい、使いやすいをキーワードに、おうちで簡単に実践できる食品備蓄の方法を普及している。

14:30~15:00 医学博士 石見拓 教授  
**講話** AEDで生命を救う(減らせ突然死)

**プロフィール**  
京都大学 環境安全保健機構 健康管理部門/健康科学センター 部門長、教授、医学博士  
NPO大阪ライフサポート協会 副理事長  
一般財団法人日本AED財団 専務理事・兼業務執行理事

## 防災グッズエリア

被災時に、家庭で役に立つ、便利グッズ、アウトドアグッズの利用方法の提案、衛生グッズなどを展示。  
見て、触れて、楽しんで、より多くの方々が、防災グッズに関心を持っていただければ幸いです。



## 防災と食エリア

日本野菜ソムリエ協会&野菜ソムリエオフィスコミュニティあたま共催  
「ローリングストック アイデアレシピコンテスト」  
野菜ソムリエが教える  
「野菜ソムリエ防災料理教室」  
(ポリ袋クッキング実演紹介)  
野菜ソムリエプロ 中島早苗氏  
「野菜と自然を愛する会」(代表 角田真理子氏 他)

**トークセッション**  
「非常時における野菜ソムリエの活躍について」

12:45~13:15 16:15~16:45 Maruのヨガ教室  
**実践** ストレスに負けないヨガ体験

普段の生活から実践できる、身体と心を守る術。緊急時こそ、日頃から身につけている習慣が役立ちます。何處になっても継続できるヨガをお伝えします。お子様も大歓迎!



15:00~15:30 絵本作家 岡田さえ氏  
**絵本** 「いのちのおはなし」読み聞かせ会

**プロフィール**  
●和多志の学修舎 瀬戸大橋教室 教室長  
●(一社)青少年健全育成協会 理事  
●Sae株式会社 代表取締役  
<https://saeonline.net>

## Special Present 限定 プレゼント

イザ!という時に役立つ  
**防災パスポート**  
災害防止研究所オリジナル版を限定配布  
QRコード  
数に限りがありますので、あらかじめご了承ください。

## 防衛省 自衛隊大阪地方協力本部 陸上自衛隊コーナー

災害派遣パネル 映像等  
OSAKA  
OSAKA

【協賛】

- 株式会社ワールドフォトプレス(mono マガジン)
- 株式会社廣瀬商会
- 串かつだるま
- 株式会社マルタマフーズ
- 株式会社おみくじ工房
- 住友林業株式会社
- 住友林業ホームテック株式会社
- 株式会社内田洋行

【協力】  
防衛省大阪地方協力本部/陸上自衛隊  
一般財団法人日本AED財団  
一般社団法人日本野菜ソムリエ協会  
一般社団法人ニューワールドアワーズ スポーツ救命協会  
道頓堀商店会

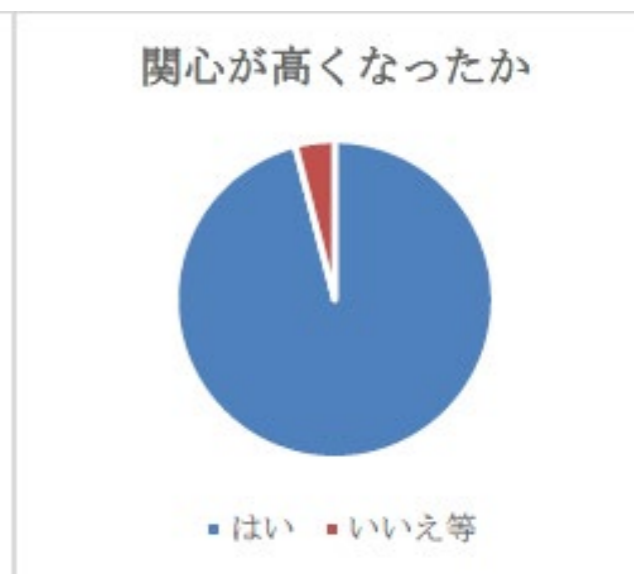
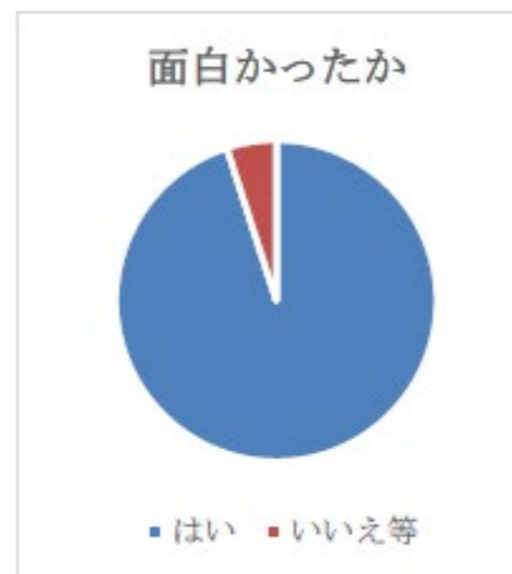
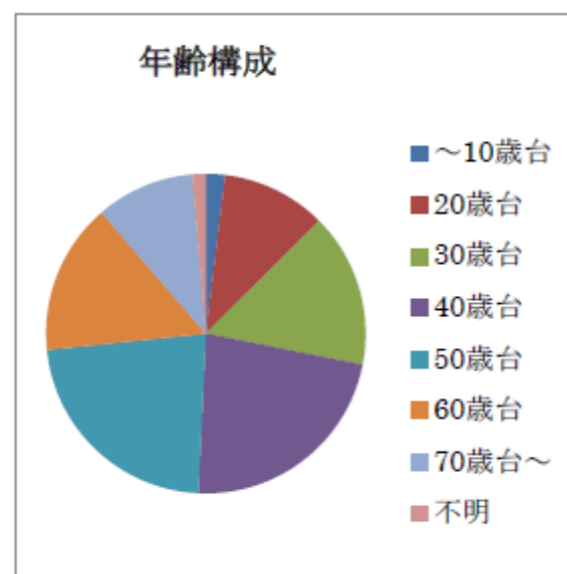
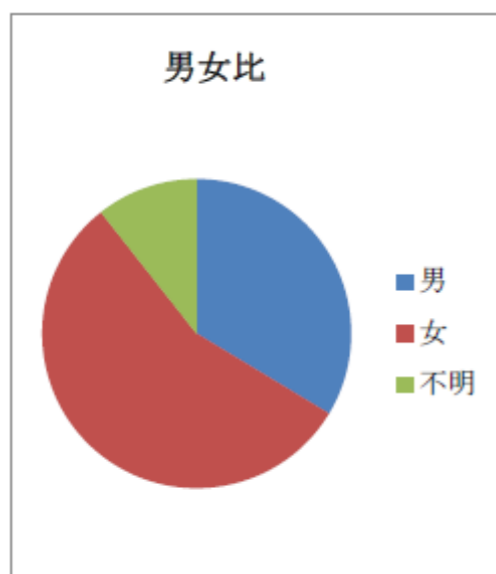
## 1) 第1回防災グッズ展【於2019年9月1日 阪急阪神百貨店うめだ本店】

遊び心とゆとりのある日乗生活のなかで、災害に備えるための大切な要素と着意を提案しました。  
「防災グッズ大賞」の受賞商品展示のほか、講演、防災料理の実演などの情報や知識を提供しました。



入場者総数 1,872名（男759名、女1,113名）

アンケート有効回答数 725名（男244名、女403名、不明78名）



## 2) 第2回防災グッズ展

### ◆ タイトル

親子でガッテン!! 家族で生き残るため

### ◆ 開催日時

10月7日（水）～9日（金） 防災グッズ大賞展（ギフトショー）

10月9日（金） 防災グッズ大賞表彰式

### ◆ 場所

東京ビッグサイト 南展示場 南ホール1階

### ◆ 主催

一般社団法人災害防止研究所

### ◆ 協賛

(株) ビジネスガイド社



## 事業（活動）内容

- ◆ 国内最大のギフトショーで、年々、防災グッズに対する関心が、高まっている。  
昨年、海外15,000以上のバイヤーが参加。  
「BOUSAI GOODS」を世界の共通語にする。



◆ 防災グッズ大賞

● 表彰対象

家庭向けの防災グッズ（生活用品を幅広く含む）

● 表彰部門

- ① 生活用品
- ② 備蓄（食品含む）用品
- ③ サバイバル用品
- ④ 住宅及び住宅附帯設備用品
- ⑤ 防災専用品
- ⑤ 衛生用品
- ⑥ 情報・警備関連用品
- ⑧ ペット対策用品等



## お問い合わせについて

本研究所に関するご質問や、ご参加の表明については事務局までご連絡ください。

一般社団法人 災害防止研究所

<https://saibouken.or.jp>

info@saibouken.or.jp



## 横浜営業事務所

【防災グッズ展への出展等、営業関連のご相談は、こちらへ】

：〒220-0024 横浜市西区西平沼町1-10 PREMIUM・CUBE横浜803

TEL090-1750-0392

E-mail [a.higashitani@saibouken.or.jp](mailto:a.higashitani@saibouken.or.jp)

## 伊勢展示事務所（伊勢ラボ）

【防災グッズの商品見学、取引のご相談は、こちらへ】

：〒516-0804 伊勢市御菌町長屋693

TEL0596-22-8686 FAX0596-22-4705

E-mail [s.sugiyama@saibouken.or.jp](mailto:s.sugiyama@saibouken.or.jp)

## 大阪レジリエンス事務局

【メンタルヘルス講習、レジリエンス検定のご相談は、こちらへ】

：〒550-0013 大阪市西区新町4丁目17番7-201

TEL06-4963-8430 FAX06-4963-8431

E-mail [k.inoue@saibouken.or.jp](mailto:k.inoue@saibouken.or.jp)